

# 緑化だより

10 平成18年11月号



ジュウガツザクラ：平成18年10月21日 撮影

みどりの話

さんぽ道

研修会・イベント報告

10/22：育樹祭イベント

10/22：秋のきのご教室

研修会・イベント紹介

11/10：晩秋の自然探勝

12/1：クリスマスリース作り

花だより

お知らせ・案内

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail [ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp](mailto:ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp)

## みどりの話 『マツ材線虫病』

マツに関する緑化相談でマツ材線虫病と思われる相談があります。マツ材線虫病は、ご存知の通り夏～秋に葉が変色し、枯れてしまう病気です。

緑化センターでも毎年十数本枯れています。園路沿いや建物周りなどのマツには樹幹注入材で防除対策を行っていますが、それでも枯れてしまう樹木もあります。

病気はマツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウによるもので、春に線虫を抱えて飛び立ったカミキリが健全なマツの小枝をかじり、その傷から線虫が進入します。線虫がマツの中で増殖し、松が枯れてくると、その枯れてきた松にカミキリが産卵します(秋)。その後、ふ化した幼虫は材を食べて成長し蛹になります(冬)。蛹の周りに線虫が集まり、春～夏にカミキリが羽化するときにカミキリの体の中に入り、線虫を抱えてカミキリは次の新しいマツへと飛び立ちます。



マツノマダラカミキリの幼虫

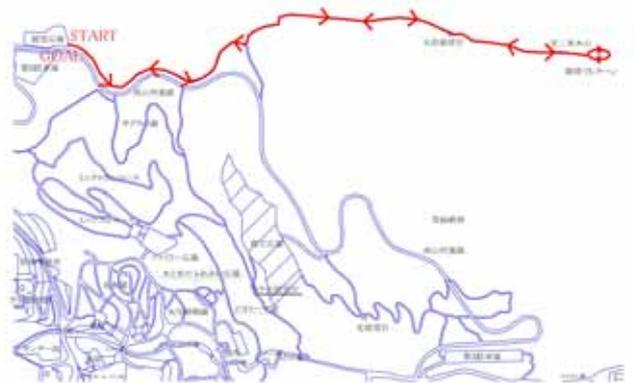
非常によくできた関係で被害を抑えるのは難しい状況です。現在、被害報告がないのは青森県と北海道だけとなっています。

広島での被害量は減少していますが、終息する状況には至っていません。抵抗性の強いスーパーマツの生産・植樹も行われています。マツ林を守り育てていくことができるよう願うばかりです。

## さんぽ道 『三本木山の道』 (延長3km 所要時間90分)

第5駐車場横の展望広場から出発します。東屋の横を通り散策路を北に向けて歩いて行きます。右手には西山作業路が見え、転落防護柵が設置してあります。

高木層にはアカマツが下層にはソヨゴ・ネジキ・コナラ・リョウブなどが見られます。しばらく歩くと、白い半透明の棒状の柱が点々とあります。これは桜の苗木を植栽した後に、鹿の食害を防ぐためのものです。桜の葉は鹿の好物の一つなのです。



道が登りになるとシダがウラジロからコシダに変わります。この辺りは、タムシバやクロキ、コナラなどが見られます。滑りやすい箇所もあるので注意して上がります。

しばらく山道を歩くと大岩展望台に着きます。東屋があるのでここで一息つきましょう。芝生広場やレストハウスが手に取るように見えます。

その先には岩がごろごろした道になり鉄塔がある場所に出ます。展望は開けており、広島東ICや広島市森林公園の昆虫館など見渡せます。ここでUターンして来た道を引き返します。下りは滑りやすく注意して展望広場に帰ります。

# 研修会・イベント報告

10月22日(日)

『育樹祭イベント』と『きのこ教室』

昼から雲が広がりましたが、雨が降ることなくイベントを開催することができ、3,000名の方が参加して大盛況の内に終了することができました。

マツタケ山整備では定員以上の方が参加して整備を行ったほか、まき割り体験や丸太切りは子供から大人まで多くの方が参加されました。ドングリ教室は木の実や小枝などを使い個性豊かな作品が並び子供たちの人気を集めていました。



10月22日:育樹祭イベント

その他、まつたけご飯や豚汁、朝取り野菜の販売や森のコンサートなども行われました。

秋のきのこ教室は、83名の方が参加されました。10月に入って晴天が続き乾燥していたこともあり、きのこの発生量が少なかったのですが、最終的に約80種類のきのこが確認されました。

緑や木に触れ合って気持ちの良い休日を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

# 研修会・イベント紹介

11月10日(金)『晩秋の自然探勝』 10:00~12:00

紅葉樹についての研修会を行います。

緑化センターには、管理事務所周辺のおオモミジをはじめ、30種類の大小様々なカエデが植栽されています。(その内園芸品種は12種類)『イロハモミジ・イタヤカエデ・ハナノキ・トウカエデ・ウリカエデ・・・』などの種類がありますが、名前をよく見ると モミジや カエデなどとあります。では、モミジとカエデはどう違うのでしょうか？

紅黄葉する種類は、カエデ科をはじめブナ科、バラ科、マンサク科、トウダイグサ科、ウルシ科、ニシキギ科、ミズキ科、ウコギ科・・・その他たくさんあります。

これらの種類から緑化センターで見ることのできる樹種の紹介や、外に出て観察する予定です。



ハナノキ  
平成17年11月12日撮影

12月1日(金)『クリスマスリース作り』 10:00~12:00

この研修会は、つるや枝、実を使ってクリスマスリース作りを体験していただきます。材料準備のため36名に限定し、11月1日から申し込みを受け付けますので、早めにお申し込み下さい。



クリスマスリース

# 花だより

十月桜(ジュウガツザクラ) バラ科 サクラ属

10月に入ると寒暖の差が大きくなり秋はいつそう深まっています。緑化センターも木の葉が徐々に色づき始め紅葉はもう少しで見頃です。

当センター内では、紅葉にあわせるかのように「**ジュウガツザクラ**」という桜がかわいらしいうすいピンク色の花を咲かせ始めました。

ジュウガツザクラは10～11月に咲き出し、冬季の間ポツポツと咲いて4月にも開花します。年2回開花することで有名な桜です。

同様に「**フユザクラ**」も花の数は少ないですが咲いています。10月に咲き出し11月下旬～12月上旬が最も多く咲いた後、4月にも咲きます。

ジュウガツザクラは“コヒガン系”の品種で花弁は十数枚で八重咲きです。一方、フユザクラは“マメザクラ系”の一重咲きで花弁は5枚の一重咲きです。

どちらも冬の花の方が春の花より小形でかわいらしく、花の違いなどを比較しながら楽しむことができます。



ジュウガツザクラ:八重咲き



フユザクラ:一重咲き

## お知らせ・ご案内

### キャッチフレーズ決定

10月22日の育樹祭イベント内でキャッチフレーズの審査結果が発表されました

**特選** 生き物いっぱい 自然いっぱい

本川小学校 松田彩花・井上りお・佐々木モナ

**佳作** 聞こえます 森の合唱 呉市阿賀北 藤井健一

緑の森で 深呼吸 安芸区矢野 新 敏之

自然のおとがきこえるよ 安佐南区毘沙門台 佐々木裕美

たくさんのご応募ありがとうございました。(敬称略)

### 展示会のお知らせ

**緑化センターの木の実100種** (レストハウス)

10月31日(火)～11月26日(日)の間、園内で採集した様々な木の実をレストハウスで展示します。

**冬のバードカービング展** (レストハウス)

10月27日(金)～翌年2月28日(水)の間、「**冬のバードカービング展**」をレストハウスで開催します。躍動感あふれる木彫りの冬鳥をご覧ください。

